第24号（2013年1月）

ふるさと交流だより

農村ボランティア
会　員　会　報

新しくふるさとむらに仲間入りしました「菜の花エコプロジェクト地区」です

菜の花エコプロジェクト地区は、多可町の西安田、箸荷、門村、杉原、観音寺、中野間の６集落で構成された、戸数 690 戸、人口 2,304 名（高齢化率 29.1%）余りの地区です。

平成 20 年 3 月に多可町バイオマスタウン構想が策定されたのを機に、当初４集落で「菜の花エコプロジェクト」を結成し、現在は６集落で取り組んでいます。この取り組みを一層進めるため、平成 24 年８月に、ふるさとむら「菜の花エコプロジェクト地区」として県の登録を受けました。地域の大きな課題である耕作放棄田の解決と集落の活性化を図るため、菜の花栽培を通じた循環型農業を目指す活動を展開しています。

地域では水稲、酒米（山田錦）、黒大豆、そば、菜の花等を栽培しています。特に、菜の花は 5.5 ヘクタール栽培し、収穫した菜種から造られた食用油を「なたねの菜っちゃん（兵庫県認証食品）」として販売しています。

菜の花栽培を中心とした作業や各集落の行事などに農村ボランティアや神戸大学生の参画を得て、地域の活性化に向けた活動が末長く継続し、多可町が活力ある地域になること。そして、都会の人々がとの交流の輪が広がり、ふれあいの絆が深められるようになることを願っています。

菜の花栽培風景

菜の花苗の移植作業

菜種油「菜っちゃん」販売状況

新しくふるさとむらに仲間入りしました　朝来市「上八代地区」です。

上八代地区は、朝来市の中西部に位置し、円山川の支流、八代川の最上流部の谷間にあり、播但連絡道路が通過する中山間地域です。戸数 22 戸、人口 60 人で高齢者が多い（高齢化率 60%）小規模集落です。集落内の老若男女の中で「できる人ができる範囲のことをできるだけする」をモットーに、上八代営農組合を中心に水稲 3.3ha、ピーマン 0.15ha、黒大豆 2.7ha を人と環境に安心な「コウノトリ育む農法」等で栽培し、近くの「道の駅」等で販売しています。特に、農産物の販売にあたり、黄緑の〇の中に、赤と黒で「元気村　上八代」の３色シールを販売袋に貼り、安心・安全で美味しい上八代産をアピールする販売を展開しています。

平成 24 年 10 月、ふるさとむらの登録を受け、ふるさとむらの活動により「コウノトリ育む農法」等の持続と集落の維持・活性化に取り組んでいます。農村ボランティアの皆さんには、ピーマン、黒大豆、水稲栽培に係る移植、除草、収穫、選別等手間のかかる作業の支援と地区収穫祭などのイベントへの参加を期待します。（上八代地区の活動状況を HP で紹介しています。URL:http//www.hnpo.comsapo.net/weblog/myblog/583/44404#44404）

地区全景と栽培風景

販売状況（３色シール）

取れたてのピーマン
生で美味しく食べる方法を紹介

平成24年度下期　ふるさとむら活動研修会の開催（菜の花エコプロジェクト地区・原地区）

平成24年11月4日（日）たつの市原地区、12月2日（日）多可郡多可町菜の花エコプロジェクト地区（以下「菜の花エコ地区」と言う。）において平成24年度下期の農村ボランティア活動研修会を開催し、原地区25名、菜の花エコ地区　24名の参加がありました。活動研修会は、原地区、菜の花エコ地区において農村ボランティア活動を体験していただくこと、両ふるさとむらの活動内容や地域の実情を知っていただくことを主な目的として開催しました。

○　原地区では、地元企業が製造する醤油やそうめんの原料となる麦栽培において、機械による耕起や播種作業等の阻害要因となっている麦畑の小石や礫を拾い、取り除く作業を体験しました。久保組合長から参加者に対して地区の概要、生産組合を中心とする農業生産活動への取組状況や今後参加して欲しい作業等の説明がありました。昼食時間を活用して、麦を取扱っている高田商店の高部部長から「麦の生産・輸入・加工・販売について」その現状や課題などをパワーポイントにより、大変解り易い説明がありました。また、午前午後にわたる石拾い作業の気分転換にと、お隣の、ふるさとむら浦部地区が参加している直売所「新鮮組こだわり隊」を視察しました。

オリエンテーション

小石拾い作業

地域特産麦の説明

○　菜の花エコ地区では、菜の花苗の植付、唐箕（とうみ）によるそばの実の選別、ひき臼によるそば轢き（そば粉づくり）作業を体験しました。特に、前夜からの寒波で山の尾根が雪で白く輝き、底冷えする中での小さな菜の花苗の移植作業は、移植ごてを握る手がかじかみ、農作業の厳しさを体感しました。

公会堂で行った意見交換会では、永井代表から６集落で構成されている菜の花エコ地区が取組んできた地域活性化の実施状況、神戸大学学生の地区での活動状況、今後参加して欲しい活動内容等の説明・提示がありました。

○　参加者を対象に行ったアンケート結果では、地区登録を希望された参加者があり、両地区とも、継続したボランティア活動に繋がっていくものと期待されます。

菜の花移植作業

そばの実選別作業

地区概要説明

編集・発行　(社)兵庫みどり公社　兵庫楽農生活センター　楽農交流課　農村ボランティア事務局
所在地　：　〒651-2304　神戸市西区神出町小東野30-17
電　話　：　078-965-2651　　FAX　：　078-965-2653
E－mail　：　koryu@forest-hyogo.jp　ＨＰ　：　http://hyogo-rakunou.com/nousonbora/